

# EFEL 定期総会議事録

日時： 2023年10月28日（土）15：20—16：45

場所： 関西外国語大学中宮キャンパス及びオンライン

参加者： EFEL 会員 24 名 及び 川名 第 57 代 ESS 部長

■：オンライン参加者

○：対面参加

No.	氏名	卒業年度	所属セクション	経験業種/職種	現住所	総会
1	越智恵子	1969	会話	塾経営	兵庫	○
2	根来繁雄	1970	---	化学	千葉	○
3	松原光男	1970	発音	教員	大阪	○
4	松原陽子	1970	ガイド	教員	大阪	○
5	岡田彰洋	1970	ディスカッション	テレビ	石川	○
6	青野昇	1971	社会学	広告	大阪	○
7	余崎洋一	1972	社会学	旅行/広告代理店/飲食	神奈川	○
8	南村栄一	1972	政経	総合電機	大阪	○
9	中村秀二	1973	文学	教員/塾経営	熊本	○
10	竹内 一	1974	歴史	二輪部品製造販売	静岡	○
11	森田浩二	1975	政経	金融	熊本	○
12	重成美雪	1975	社会学	教員	北海道	○
13	戸上恵理子	1975	歴史	教員	熊本	○
14	上野和子	1975	文学	---	奈良	○
15	北尾妙子	1975	ディスカッション	旅行/塾経営	千葉	○
16	江並啓治	1978	ディスカッション	飲食業	大阪	○
17	柿崎紀明	1978	政経	製造業	神奈川	■
18	水野明洋	1978	政経/ディスカッション	自動車/旅行	東京	○
19	細川幸治	1983	ディスカッション	金融	アメリカ	○
20	田坪紀美	1984	歴史	教員	大阪	○
21	丸谷一也	1985	ディスカッション	電機/モーター/医療	大阪	○
22	井端義人	1986	歴史	情報・通信業	神奈川	○
23	長嶋俊樹	1990	歴史	機械製造（海外業務）	大阪	○
24	平井雅彦	1994	ディスカッション	教員	奈良	○
1	川名真由	2回生	ディスカッション	CA	大阪	○
計						24+1名

## 議決事項及び議案事項：

- 1) 2023 年度決算報告
- 2) 2023 年度 EFEL 基金収支報告
- 3) 2023 年度残高報告
- 4) 監査報告
- 5) 2024 年度活動
- 6) テーマ別座談会
- 7) 2024 年度予算計画
- 8) ESS 活動報告

\* EFEL 議案事項 1) ～7) は全て承認を頂きました。

### 1) 2023 年度決算報告 (2023 年 9 月 30 日現在)

重成 財務・会計担当 副会長より報告し、出席者全員の承認を得ました。

#### 収入の部

(単位:円)

科目	今年度 予算額	今年度 実績	増減	備考
会費収入	5,000	17,111	12,111	
寄付金収入	5,000	10,000	5,000	
雑収入	0	0	0	
<b>収入の部合計</b>	<b>10,000</b>	<b>27,111</b>	<b>17,111</b>	

#### 支出の部

事務用品費	1,000		-1,000	コピー・印刷インク代金
交通費	5,000	970	-4,030	通帳/印鑑引継ぎ交通費
通信費	2,000		-2,000	
ホームページアップデート費	0			
Zoom費	0		0	毎年1月支払いの為『0』
サーバ賃貸料	0		0	毎年1月支払いの為『0』
振込手数料	660		-660	
卒業生への贈呈	0		0	
特別プロジェクト ESS歴代パンフ	0		0	
<b>支出の部合計</b>	<b>8,660</b>	<b>970</b>	<b>-7,690</b>	

#### 純収支合計

純収入	1,340	26,141	24,801	
-----	-------	--------	--------	--

次期繰越金	26,141
-------	--------

### 2) 2023 年度 EFEL 基金収支報告 (2023 年 9 月 30 日現在)

重成 財務・会計担当 副会長より報告し、出席者全員の承認を得ました。

(単位:円)

年月日	氏名	収入	支出	差引残高	備考
2023/4/10	田坪紀美様	220			手数料返還
2023/8/5	長嶋俊樹様より	2,000			
2023/8/21	受取利息	1			
2023/9/16	水野明洋様より	10,000			
	<b>今期収支合計</b>	<b>12,221</b>	<b>0</b>		

準差引	12,221
-----	--------

期首残高			246,091	
現在残高			258,312	

### 3) 残高報告 (2023 年 9 月 30 日現在)

重成 財務・会計担当 副会長から報告され、出席者全員の承認を得ました。

(単位：円)

科目		額	備考	科目	額	
資産	EFEL会費	419,525	郵貯口座での預金残高	負債		
	EFEL基金	258,312	SMBC口座での預金残高			
	小計	677,837			小計	0
固定資産				純資産	会費	419,525
	小計				基金	258,312
	小計			小計	677,837	
合計		677,837		合計	677,837	

EFEL会費	郵貯 残高	期首残高	393,384
		収支合計	26,141
		現在残高	419,525
EFEL基金	SMBC 残高	期首残高	246,091
		収支合計	12,221
		現在残高	258,312

#### 4) 監査報告

上記の会計収支決算報告に関し監査役である田坪紀美さんから会計基準に則り、使用用途が会則に則ったものであるとの監査報告があり出席者の承認を得ました。

#### 5) 2024年度 展開予定活動

下記の活動内容について水野会長からの説明・報告を行った。

## 2024年度 展開活動 - OBOG向け

**EFEL**  
Everlasting Friendship through English Language

### アクティブな会員拡大・母校と連携した更なる現役生への支援

	目標	目的・アクション
新規	① 広報対象領域 拡大と掲載情報の質向上 インタビューメンバー拡大 23年2月スタート	① OBOGへの活動理解促進の為、 ESSの役員を経験された方にインタビュー 10/9 第55代ESS部長 堀井さん
新規	② アクティブ会員拡大と財政強化	② EFEL活動 参画者増による展開
一部 新規	③ 各地区(ブロック)別/年代別交流会・懇親会 職業別懇親会→テーマ別座談会	③ 会員間のコミュニケーション促進 10/7 中国・四国BL オンライン開催
継続	④ 外大同窓会 各支部総会/懇親会に連携して EFEL会員が参画	④ 各支部総会/懇親会参加の積極的なPR 11/12 九州支部総会、12/3 関東支部総会
一部 新規	⑤ イベント全般	⑤ 対面活動復活(興味・趣味を主体とした交流会) 交通費、時間などの節約の為、オンライン並行継続
継続	⑥ Zoomアカウント：会員に開示し利用促進	⑥ OBOGのコミュニケーション促進の為
新規	⑦ 定期的なEFEL情報発信	⑦ メールによるEFEL通信発行(NEWSLETTER)

## アクティブ会員拡大・母校と連携した更なる現役生への支援

	目標	目的・アクション
継続	オンラインでの <b>就職・海外勤務 相談会</b>	現役生の就職・海外勤務に関する不安・疑問などに応える為
継続	<b>第56回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会【11/26(日)】運営サポート及びスピーチ指導</b>	伝統ある全国レベル大会の継続 スピーチ指導は現役生の要望に基づき実施 谷本杯開催方式 <small>スタート時間：11時</small> スピーカー(対面) オーディエンス(対面+オンライン)
継続	HPに『 <b>現役生へのエール</b> 』コーナー	現役生への就活サポートの為
継続 新規	① <b>アメリカ留学中の母校学生 (ESSメンバー含む) との座談会・講演会</b> ② <b>EFEL活動理解促進</b>	① より良い留学生在活が出来様に、国際交流部と連携で、アメリカブロック及び日本側の留学経験者の協力を得て実施。 ② <b>ESS役員メンバーとのインタビュー記事掲載</b> 9/1 第57代ESS部長 川名さん、10/20 島原さん

10/22

## 6) テーマ別座談会と FEEL 会通信(NEWSLETTER)について

本年8月5日開催の2024年度臨時総会からの変更点と追加活動などについて、丸谷 活動推進・広報担当 副会長より説明・報告を行った。

## 2024年度 テーマ別座談会

## ◆企画・総務及び活動推進・広報領域の【職業別座談会】提案について◆

本年8月の臨時総会時、柿崎さんより諸外国にも適用される米国競争法およびその法令遵守運営の必要性についてアドバイスを頂き、【職業別座談会】は【テーマ別座談会】に変更し、出来るだけ早いタイミングでの開催を計画中。

## &lt;テーマ例&gt;

1. EFEL会員を増やすにはどんな活動をすべきか？
2. EFEL会を身近に感じて貰うにはどんな活動を取り入れるべきか？
3. 日本の英語教育の課題
4. 如何に外国人労働者を受け入れいるか？課題・問題点は何か？
5. 関西外大ESSでの経験が社会人になってどう活かされたか？
6. 私の就職活動と題しての座談会 (メルマガでのシリーズ化掲載の検討)
7. 現役生から聞きたい/質問したいこと等を募り、現役生参加もする座談会にする、あるいは OBOG回答/アドバイスをメルマガ掲載、SNS発信 等々

テーマについて、当会議後のEFEL会員交流会にて意見を出して頂くか、後日の場合は、HPの『お問合せ』からお聞かせ下さい。

12/22



**NEWSLETTER**  
Monday 2023/9/1 Vol.1 創刊号

EFEL会員の皆様へ ~会長 水野より~

8月5日の臨時総会で発表致しましたメルマガジンの登場です！  
私共、役員会議メンバーは当メルマガジンを通じて会員の皆様  
にとって役立つ情報、面白い内容を提供していく事で会員のみな  
さんとコミュニケーションを図り、メールアドレス登録を拡充し、  
EFEL会を身近に感じて頂きたいと考えております。

第一号では、 EFEL役員会議メンバーが討議している話題  
ESS便り  
あの人は今？  
青春のワンショット  
最近の話題についての意見募集コーナー等 です。

EFEL会ホームページ(HP)とFacebook連携を相互補完的に活用することで、一層の  
コミュニケーションの場を創造したいと考え、メルマガジンを発行する次第です。  
今後は積極的に現役ESS部員にもアプローチし、海外からの留学使用、海外で活躍し  
ているEFEL会員使用、EFEL会員の結婚、就職、仕事、ボランティア活動等、皆様から  
のご提案も取り入れながら内容の充実を目指していきたいと考えております。

EFEL会役員会議メンバーデスクより

役員会議メンバーで取り上げている最近の主な話題は以下です。皆さんのご意見、  
今後取り上げたい話題をEFEL会HP『お問合せ』からお聞かせください。

本会員の皆さんの思いは何ですか？  
本会員にしてメールアドレスの登録を拡大させるか？  
本会員の方々に参加してもらえらる企画は何ですか？  
メルマガ記事として、何らかのシリーズコーナーを設置するのはどうか？ 等  
(注)下線を施した箇所『お問合せ』等、下線文字をクリックで関連サイトに移動します。

ESS便り  
今回は27代部長の川原さんの紹介。EFEL会の皆様に応援の活躍や川原さんを紹介できればと  
思い、直撃インタビューしました。  
川原さんは、広島出身で高校時代には吹奏楽部 部長  
を務められていたのですが、最終選考されたサテライト  
ではなく、英語の實力を伸ばすために外大を選び、  
ESSに入部されたという経歴です。  
インタビュー記事詳細は、EFELのHP『交流広場』から  
ご覧ください。

関西外国語大学ESS 08-0606EFEL(エフェル) <http://efel.nuho.jp/>

あの人は今？

このコーナーでは、現役時代には交流の  
のたuration・先輩・後輩を探し、現在  
の様子を知らせてくれるコーナーです。  
お聞かせ下さい。

『お問合せ』からお聞かせ下さい。  
の座談会を企画しております。  
とさせていただきます。

すべきだと思いますか？  
な活動を取り入れるべきだと  
？  
てどう活かされたか？  
本会員のシリーズ化掲載の検討  
等を募り、座談会に現役生も参加  
をメルマガ掲載、SNS発信。

ただです。  
にEFEL会員の(プログラム)して  
は、ご判断下さい。  
下さい。  
)会費参加可能人数：100人  
。.  
を目的として、HPに『投稿』機能  
をご用意下さい。投稿内容としては、  
\*ご自身が出版された本の宣伝  
せ』より送付下さい。

のEFEL会員の方に転送、Share  
取ってられない方があれば、  
メールアドレス登録のお手続き  
ます。

メンバー同より ~  
(1983年卒)、丸谷一也(1989年卒)  
岡山孝志(2011年卒)

エフェル <http://efel.nuho.jp/>

あの人は今？

このコーナーでは、現役時代には交流の  
のたuration・先輩・後輩を探し、現在  
の様子を知らせてくれるコーナーです。  
お聞かせ下さい。

『お問合せ』からお聞かせ下さい。  
の座談会を企画しております。  
とさせていただきます。

すべきだと思いますか？  
な活動を取り入れるべきだと  
？  
てどう活かされたか？  
本会員のシリーズ化掲載の検討  
等を募り、座談会に現役生も参加  
をメルマガ掲載、SNS発信。

ただです。  
にEFEL会員の(プログラム)して  
は、ご判断下さい。  
下さい。  
)会費参加可能人数：100人  
。.  
を目的として、HPに『投稿』機能  
をご用意下さい。投稿内容としては、  
\*ご自身が出版された本の宣伝  
せ』より送付下さい。

のEFEL会員の方に転送、Share  
取ってられない方があれば、  
メールアドレス登録のお手続き  
ます。

メンバー同より ~  
(1983年卒)、丸谷一也(1989年卒)  
岡山孝志(2011年卒)

エフェル <http://efel.nuho.jp/>

(主目的)  
EFELをより身近に感じて頂く情報発信

- ① EFEL活動への理解促進。
- ② 役員メンバー含めた会員同士の相互コミュニケーション活性化。

(発信手法と期待'拡散'効果)

- ① 登録メールアドレスへの直接発信でEFEL情報へアクセスし易い。
- ② 日頃HPアクセスされない方々へも容易に転送可能。

◆是非、EFELからの情報をお受け取り  
頂くためのメールアドレス登録促進にご協力  
をお願いします。

7) 2024 年度予算

予算について重成 財務・会計担当 副会長から説明があり、出席者の承認を得ました。

'24年度 年会費 及び 寄付金 予算計画

【財務会計領域】 Everlasting Friendship through English Language

自 2023年10月 至 2024年9月

収入の部		(金額単位:円)
科目	今年度 予算額	
会費収入	50,000	
寄付金収入	50,000	
雑収入	0	
<b>収入の部 合計</b>	<b>100,000</b>	
支出の部		
事務用品費	1,000	
交通費	5,000	
通信費	2,000	
ホームページ アップデート費	0	
Zoom費	23,000	
サーバ賃貸料 (2024年分)	4,000	
振込手数料	1,320	
卒業生への贈呈 特別プロジェクト ESS歴代バンフ	0	
<b>支出の部 合計</b>	<b>41,320</b>	
<b>純収支合計</b>		
<b>純収入</b>	<b>58,680</b>	

○収入の部

- \*会費/寄付金収入：  
21/22年度実績をベースとして目標設定
- \*対面イベント(総会/懇親会等)で積極的にPR

○支出の部

- \*事務用品： コピー・印刷インク代金
- \*交通費： 学生との会議 2~3回
- \*通信費： 書類送付代金
- \*ホームページアップ費  
： 活動推進・広報チーム内で対応
- \*ZOOM費/HPサーバ賃貸料  
： 毎年1月に年会費支払い
- \*卒業生への贈呈  
： 卒業生記念品贈呈援助金

8) ESS 活動報告 (川名 第 57 代 ESS 部長より)

現在の部員数は35名でその内訳は以下の通りです。

SECTION別	人数		学年別	人数
DRAMA	7		1回生	6
SPEECH	5		2回生	8
DISCUSSION	4		3回生	19
OCS	14		4回生	2
留学中	5			
<b>合計</b>	<b>35</b>		<b>合計</b>	<b>35</b>

今後の活動予定として下記の予定が部長の川名真由さんより発表されました。

2023年11月26日 谷本杯スピーチコンテスト  
 スピーカー：対面/オーディエンス：対面及びオンライン  
 12月 新部長への交代、クリスマスパーティー  
 2024年3月 卒業式、卒業パーティー

## 9) ESS 報告と EFEL 会からの支援、並びに ESS の課題について

- ◆南村さんから川名部長に、今年度の ESS の目標が何であって、一年の活動を通じてその目標に対して、どのくらい達成しているかという観点も含めた内容になるよう工夫して欲しいとの提案がなされました。
- ◆これに付随して、水野会長から ESS の課題として、現在 3 回生 19 名の部員が残っておりますが、当時の ESS 会議メンバー（役員）がコロナ禍の中で、一生懸命に勧誘努力をして安定した ESS 運営を行ってきたからであり、その後 2 年間の ESS 状況及び部員数の推移を見ると、来年以降 ESS がクラブとして存続できるか大変心配しておりますとの発言があった。
- ◆更にこのポイントに関し、丸谷副会長から、以前、外大事務局方との昨今の学生気質、クラブ活動に対する考え方など、学生としての考え方などが大きく変化する状況について意見交換をする中で、
  - ① 授業内容が昔と比べてかなり充実してきていること
  - ② 留学に重きを置く学生生活(例えば、留学資金稼ぎの為にアルバイトやクラス授業準備などにより時間が忙殺される)など、
 ESS の現役生が何を EFEL 会に求めているか、また EFEL 会として ESS にどんな支援をすべきか、EFEL 会としてのこれからの立ち位置をもう一度よく考える必要があるのではないか・・・との問題が提起がなされた。
- ◆このポイントについての知見を持たれている井端 関西外大同窓会本部 副会長に意見を求め、以下の現状での見方や考え方に関する見解を頂いた。

【1】時代は我々が現役の時から明らかに変わっている。少子高齢化で大学の生き残り競争が激化する中、本学は、海外留学 1000 人、外国人留学生の受け入れ 500 人(全国私大 1 位)と飛躍的にグローバル化し、偏差値も急速的に伸びている(英語キャリア学部、国際共生学部ともに 65 前後)。

【2】本学のグローバル化に伴い、私達が現役時代に ESS で取り組んでいたディベートやスピーチ、ディスカッションなどは、講義に取り入れられ、能力別に振り分けられたレベル毎に高度な教育が行われている。従って、現役学生の ESS 入部の目的は、我々の現役時代と自ずと変わってきているはずである。

【3】このような状況を踏まえ、EFEL 会が我々の時代に現役生に期待していた事を現代の ESS 部員に期待する事こそ無理がある。

ESS の部員の入部の目的を正しく把握したうえで、EFEL 会の意義・存在価値、EFEL 会の ESS に対する支援のあり方を考え直す時期である。

◆最後に根来相談役から、本日の総会(当該最後の議論)では、EFEL 会から見た ESS との関係の問題点 並びに ESS の部員減少をどう捉えて、EFEL 会としてどう動くのが妥当なのかなど、問題提起と関係者が当件(他課題も含め)についてより深く考え、これから更に突っ込んだ議論が必要となるとの認識を共有出来るよい機会になったと考えたと共に、今後もこう言ったことが審議できる場をもっと持つていく必要があるとのご意見を頂いた。

## 10) 閉会の挨拶

細川総務企画副会長より下記の閉会の挨拶がありました。

ESS は我々が社会人としての一步を踏み出した我々を育ててくれた組織であり、いわば我々の社会人人生の出発点です。その卒業生が組織している EFEL は、昔の同志と会える場所であり、新たに志を共にする先輩、後輩と出会える場所だと思います。

私が考える EFEL の将来像は、「活発な活動を通じて EFEL 会員全員にとって価値のあるコミュニティー」であって欲しいと思っています。活発な活動とは、会員の全ての人々が双方に連絡を取り合え、集え、お互いに協力、支援し合う活動を行うという事です。EFEL 会員全員というのは、単に ESS の卒業生のみならず ESS の卒業生の家族も含めた会員全員という意味です。価値あるコミュニティーとは、その会員にとって色々な意味で活用でき、会員にとって有益な情報、役に立つ支援、ネットワークを構築する社会という意味です。

1980年代の後半からの会員が殆ど参加していない現状を踏まえると、日暮れて道遠しの感がありますが、ESS,EFEL を今後存続させていくためにはここにいる会員の皆さんの支援が必要です。

以上